

## 区自立支援協議会 課題整理表

### (1) 支援内容、体制、施策等に関する事項

No.	年度	部会等	課題	内容	方針・検討の場	備考
1	26	中	難病に関する相談支援について	相談経験者が少なく、医療から福祉サービス活用まで幅広いマネジメントが必要。介護保険が絡むこともある。事例の積み重ねや啓発研修など通じて、相談支援の体制づくりなど強化を図っておく必要。		
2	26	中	発達障害者の居場所づくり	作業所など日中活動系サービス利用するが、特性ゆえにマッチングや継続性が図れずひきこもりなどになっている事例がある。特性に特化した社会資源（居場所）も必要か。		
3	26	中	放課後デイ・児童相談支援について	放課後デイサービス利用の充足が急速に拡がりつつあるが、18歳成人サービス移行時に同様に利用できる夕方サービスはない。（サービス保障の途切れ）放課後デイは児童福祉法における親の就労保障の背景がある。また放課後デイはガイドラインが不明瞭なことから申請のまま支給決定されている現状課題。		
4	26	中	重度訪問介護の事業所不足	背景に、重度障害者を支える医療ショートなどほか福祉サービスがない現状がある。（社会資源の不足）		
5	26	中	重度訪問介護支給決定ガイドラインのあいまいさ。計画相談（申請支援）でどこまで関わるべきか？果てしない時間数申請のニーズに、どう対応したらいい？介護保険と併用で720Hになる事例もある…	重度訪問介護のガイドラインはあるのか？		
6	26	西	権利擁護	必要なケースが成年後見制度利用につながっていない。→何がそうさせているのかを分析し、どのような取り組みができるかを考える。	学習会・研修会を開催。（継続していく）	
7	26	西	社会資源の整備5（サービスの質の向上）	特に放課後等ディサービス事業所間の質の差が大きくなってきている。		
8	26	西	障害児支援（連携）	学校と福祉との連携がまだ不十分である。		
9	26	西	社会資源の整備7（指定相談）	特に障害児相談支援事業所の業務が一時的に集中する時期があり件数が膨大になるが、実際にサービスにつながらないと無報酬となる。→事業所の不足だけでなく、質の担保をどう確保していくか。		
10	26	西	社会資源の整備3（触法等対応）	「触法」等に対応できる社会資源（特に居住の場）の開発と受け入れ先の地域づくりをどうしていくのか。		
11	26	西	発達障害者支援（連携）	現場のヘルパーから、関わり方を知りたいとの声があがっている。		発達障害者支援センターへ研修講師依頼を検討中。
12	26	西	社会資源の整備6（年齢超過児）	児童養護施設からの受け入れ先（特にGH）の不足		

No	年度	部会等	課題	内容	方針・検討の場	備考
13	26	西	その他？	指定相談支援事業所の書類を一部緩和できるものはないか？	西区指定相談事業所交流会にて、サービス担当者会議前の連絡内容を書き込めるシートを作成中。	
14	26	西	災害時の体制、備え			当事者家族から現状の報告を聞き、民生委員との意見交換を実施。
15	26	北	居場所機能	発達障害・重度の知的・強度行動障害・若年性認知症など受入れ可能な施設が少ない為、施設に所属していない方が多い。		
16	26	北	発達障害についての理解	障害特性等を理解して特化した支援を行っている支援者が少ない。	専門機関と連携し、協議会にて次年度勉強会の開催等を検討中。	
17	26	美原	サービスの質の担保	放課後等デイサービスなどの児童サービス、就労継続支援A型を含む日中活動の事業所のサービスの質をどう向上させるか。	〇各区協議会で現状把握し、市協議会で情報共有。	H27年4月西浦支援学校が開校されるにあたり児童デイサービスが増えている。学校と連携できる関係を作り情報共有の必要がある。
18	26	美原	虐待防止に対する意識向上	家族や事業所が抱え込んでしまう傾向が強く、虐待防止の意識をどう向上させるか。	区協議会で状況把握し、権利擁護サポートセンターの啓発研修の活用や連携をすすめる。	

## （２）協議会の運営等に関する事項

No	年度	区・部会等	課題	内容	方針・検討の場	備考
1	26	西	協議会に対する認識の共有	各参画機関および西区の障害に関わる方々に「自立支援協議会」を知ってもらうことで、認識の共有および地域課題の提言の場につながっていることを周知していく。	H27年の早い段階で、「自立支援協議会とは？」の研修を開催（堺市全区オープン）予定。	
2						
3						